

1. 「市庁舎の建替」と「現市庁舎の利用」の比較

現市庁舎の課題		市庁舎の建替		現市庁舎の利用		
費用対効果		<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルコストを含めた経済性の配慮が可能 ・合併特例債の有効活用が可能。(80～90億円) ・初期投資の額が大きくなる 		△	<ul style="list-style-type: none"> ・整備費用は少なく済む ・近い将来大規模改修又は建替えの必要性 ・狭あい化の改善には、増築もしくは更なる建築物の購入等が必要 	
安心・安全	防災拠点	耐震性	<ul style="list-style-type: none"> ・免震構造等、地震エネルギーが伝わり難くした構造にすることが可能 ・防災拠点として、望ましい水準(耐震安全性Ⅰ類(Is値0.9))に整備することで、被災時において継続的に機能や役割を発揮することが可能 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・躯体の耐震性はあるが、設備等の倒壊・損傷の可能性があるため、耐震性能を高め、災害対応の司令塔としての使用を可能とすることが必要 	
		アスベスト	<ul style="list-style-type: none"> ・アスベストの懸念が払拭 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・アスベストの飛散により本庁舎が使用できない可能性が高い 	
		(災害対策本部)	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎内に設置することで、迅速な対応が可能 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎が被災し使用できない場合、消防本部に設置 	
	老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・抜本的な解決が可能 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・配管等の大規模改修やエレベーターの改修が必要 		
	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・閉庁日や開庁時間外に会議室を貸し出すサービスも可能 ・第三者の執務スペースへの立ち入りが制限可能 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者の執務スペースへの立ち入りを制限が困難 		
機能	分散	<ul style="list-style-type: none"> ・集約化により、施設配置の自由度が増す ・窓口ワンストップ化が可能 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口ワンストップ化が困難 		
	狭あい	<ul style="list-style-type: none"> ・通路幅を確保でき、車椅子利用者などの利便性の増加 ・待合スペース、相談スペースの確保につながる ・会議室の不足を解消できる 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・通路幅の拡張が困難 ・待合スペース、相談スペースの拡張が困難 ・会議室が不足 		
	バリアフリー化・ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の基準に合わせたバリアフリー化が可能 ・多目的トイレ、オストメイト用トイレの増設が可能 ・来庁者が迷うことなく目的の部署に行けるなど利便性が向上 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの増設(女子トイレ、多目的トイレ、オストメイト用トイレ)が困難 		
	環境共生型の施設	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した省エネルギーを活用するための、太陽光、雨水利用、屋上緑化などに配慮した施設整備が可能 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の構造による制約で、太陽光、雨水利用、屋上緑化など困難 		
その他	市民サービス向上	<ul style="list-style-type: none"> ・便益施設の検討が可能 ・市民の交流スペースが確保可能 ・閉庁日や閉庁時間の会議室の貸し出しが可能 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・狭あい、セキュリティ等の問題で困難 		

2、「課題解消のための対策」と「問題点」

現市庁舎の課題		課題解消のための対策	対策の実施に伴う問題点
安心・安全	防災拠点性能	<ul style="list-style-type: none"> ・免震化や更なる耐震化 (耐震安全性 I 類(Is値0.9)の確保) ・アスベストの除去 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮庁舎の建設、仮移転しながらの工事 ・長期の工事期間 ・来庁者用駐車場の確保 ・費用が高額
	老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・構造躯体の長寿命化 ・設備等の大規模改修 (電気設備、昇降機設備、配管等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮庁舎の建設、仮移転しながらの工事 ・来庁者用駐車場の確保 ・費用が高額
	セキュリティー	<ul style="list-style-type: none"> ・ICカードの導入 ・執務スペースへの間仕切りを設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の構造による制約 ・空調等、設備改修が必要
機能	狭あい・分散	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な増築による集約とスペースの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・現市庁舎の大規模改修が必要 ・更なる分散化の可能性 ・用地取得費または賃借料の発生 ・来庁者用駐車場の確保 ・費用が高額
	バリアフリー化・ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の基準に合わせたバリアフリー化 ・多目的トイレ、オストメイト用トイレの増設 ・通路幅の拡張 	<ul style="list-style-type: none"> ・構造的に困難 ・庁舎の増築が必要 ・増築しない場合は、更なる狭あい化、分散化
	環境共生型の施設	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光、雨水利用、屋上緑化 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の構造による制約
その他	市民サービス向上	<ul style="list-style-type: none"> ・便益施設の併設 ・市民の交流スペースを確保 ・閉庁日や閉庁時間の会議室の貸し出し 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の増築が必要 ・増築しても、バリアフリー化や待合スペース等の拡大が優先されるため、便益施設等の設置は困難 ・セキュリティー対策が必要